

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	管きよ費				所管課	下水道課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	下水道施設の保守点検及び修繕等を行い、機能を維持する。				
事業概要	下水道施設の維持管理に必要な保守点検、修繕工事等。						

事業予算							
会計	05	款項目	01	01	01	大事業	管きよ費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
		直接事業費	17,971	15,371	19,539		
		概算人件費	5,261	4,364	4,244		
		トータルコスト	23,232	19,735	23,783	0	0
		国庫/県支出金	0	0	0	0	0
		その他	23,232	19,735	23,783	0	0
R6 概算人件費		正規職員	1.00 人		4,364 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			4,364 千円		

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	下水道本管の点検延長 (km)	計画値	110	12.5	12.5	12.5	12.5
		実績値		11.1	11.1		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	公共下水道の整備と管理	4.19	3.25
2			
3			
	全体平均	4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

Figure 1: Scatter plot of Importance (重要度) vs Satisfaction (満足度). The x-axis ranges from 3.30 to 4.50, and the y-axis ranges from 2.10 to 3.60. A red cross marks the center at approximately (4.09, 2.93). Measure 1 is plotted at (4.19, 3.25), which is in the top-right quadrant labeled '重点維持分野' (Key Maintenance Area). Other quadrants are '維持分野' (Maintenance Area), '改善分野' (Improvement Area), and '重点改善分野' (Key Improvement Area).

分析		
前年度	成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 管路点検調査について、マンホール管口点検調査を740箇所にて実施した。 管路点検調査等により堆積や流下阻害が起きている管きよの清掃を実施した。 管理するマンホールポンプ、流量計の保守点検を実施した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 日々の点検にも限界があり、予防保全型の対応が行えない。 新規整備も終焉を迎え、より維持管理について重視していくが、管理手法の構築が必要となっていく。
今年度	成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> 管路点検調査について、マンホール管口点検調査を489箇所にて実施した。 管路点検調査等により堆積や流下阻害が起きている管きよの清掃を実施した。 管理するマンホールポンプの保守点検を実施した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 日々の点検にも限界があり、予防保全型の対応が行えない。 新規整備も終焉を迎え、より維持管理について重視していくが、管理手法の構築が必要となっていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	総係費				所管課	下水道課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	下水道事業を円滑に運営する。				
事業概要	受益者負担金及び下水道使用料業務等を適切に進め、下水道の普及促進をすることにより、下水道事業の円滑な運営につなげる。						

事業予算							
会計	05	款項目	01	01	02	大事業	総係費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額		R7 決算見込		R8 事業費
							R9 事業費
	直接事業費	16,832	20,426		56,584		
	概算人件費	6,103	6,035		5,709		
	トータルコスト	22,935	26,461		62,293		0
	国庫/県支出金	0	0		0		0
	その他	22,935	26,461		62,293		0
R6 概算人件費	正規職員	1.17 人		5,709 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.20 人		326 千円			
	その他	人		千円			
	合計			6,035 千円			

成果指標		計画値	実績値	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	水洗化率（下水道）（%）	計画値		84.2	84.7	87.1	88.0	88.8	89.8
		実績値			86.0	87.4			
②		計画値							
		実績値							

町民満足度調査結果（令和3年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 公共下水道の整備と管理	4.19	3.25	
2			
3			
全体平均	4.09	2.93	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・水洗化率は、着実に上昇し、安定した事業運営につながっている。
	課題	・下水道事業は令和5年度から公営企業会計に移行しており、引き続き着実な会計運営を図る。
今年度	成果（実績）	・水洗化率は、着実に上昇し、安定した事業運営につながっている。
	課題	・下水道事業は令和5年度から公営企業会計に移行しており、引き続き着実な会計運営を図る。また、今後は、新たな補助金制度が始まるため、着実な事業実施に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	管路建設改良費				所管課	下水道課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	公共下水道の普及により、公衆衛生の向上と河川等の水質保全に資する。				
事業概要	百合が丘、中里、山西、二宮地区の枝線整備を実施する。						

事業予算							
会計	05	款項目	01	01	01	大事業	管路建設改良費
		R5 決算額（千円）	R6 決算額		R7 決算見込		R8 事業費
		174,628	255,309		288,018		R9 事業費
		7,070	6,417		6,221		
		181,698	261,726		294,239		0
		65,400	73,100		61,780		0
		116,298	188,626		232,459		0
R6 概算人件費	正規職員	1.48 人		6,417 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			6,417 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	下水道整備面積（ha）	計画値	423.5	427.8	432.1	436.4	440.7
		実績値	418.6	423.5	426.1		
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 公共下水道の整備と管理	4.19	3.25	
2			
3			
全体平均	4.09	2.93	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・汚水枝線工事を6箇所実施し、本管工事延長L=901m（φ200） 取付管及び公共汚水樹54箇所設置した。
	課題	・令和5年時点で、事業計画区域の94.3%について整備が完了している。未普及対策としては令和7年度概成を目標に整備を進めているが、未利用地や私道については土地所有者の意向等により整備が行えない状態となっており、取り残される区域が生じてしまう。
今年度	成果（実績）	・汚水枝線工事を7箇所実施し、本管工事延長L=579m（φ200） 取付管及び公共汚水樹37箇所設置した。
	課題	・令和6年時点で、事業計画区域の94.9%について整備が完了している。未普及対策としては令和7年度概成を目標に整備を進めているが、未利用地や私道については土地所有者の意向等により整備が行えない状態となっており、取り残される区域が生じてしまう。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持